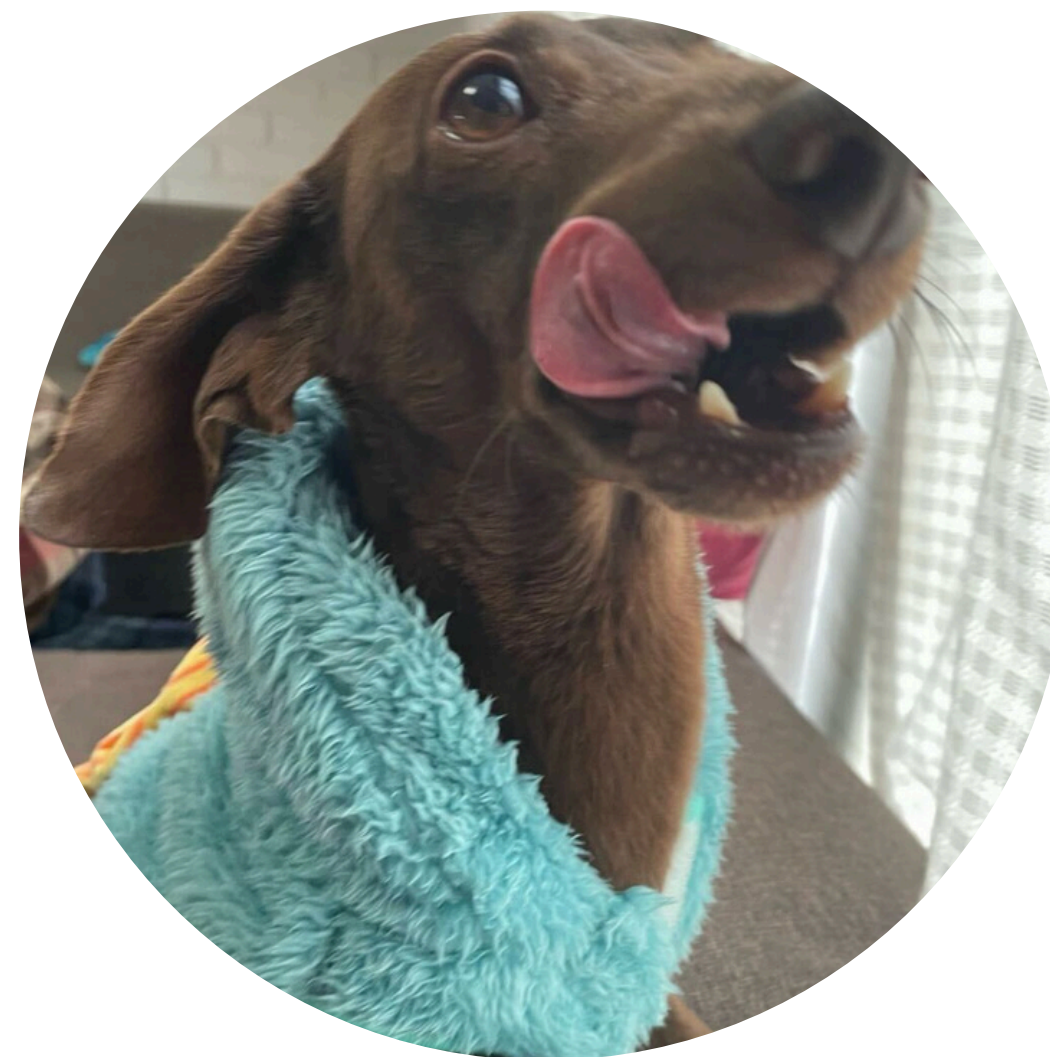


コードを書くという事は子どもを育てること

TULLY



AGENDA

- 1 プロフィール
- 2 最近の悩み
- 3 真似をする(fork)
- 4 転用してみた
- 5 まとめ

大塚風樹

オオツカ フウキ

生年月日：2001年3月2日

血液型：O型

出身地：群馬

現住所：神奈川

好きな言語：JavaScript, TypeScript

趣味：サーフィン、コーヒーを淹れること



最近の悩み

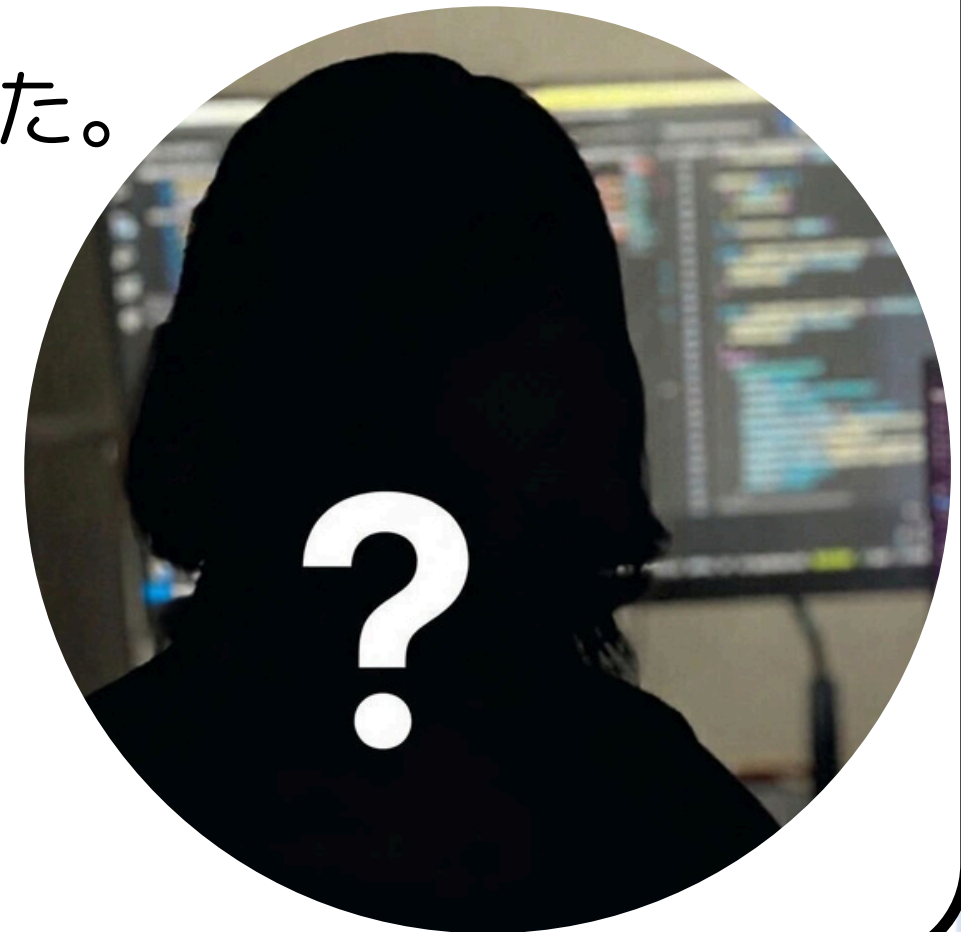
- 「自分のため」に勉強することに、限界を感じていました。
- 年収や評価ばかり気にしていると、コードを書くことや勉強していることがただの「義務」になって苦しかった。

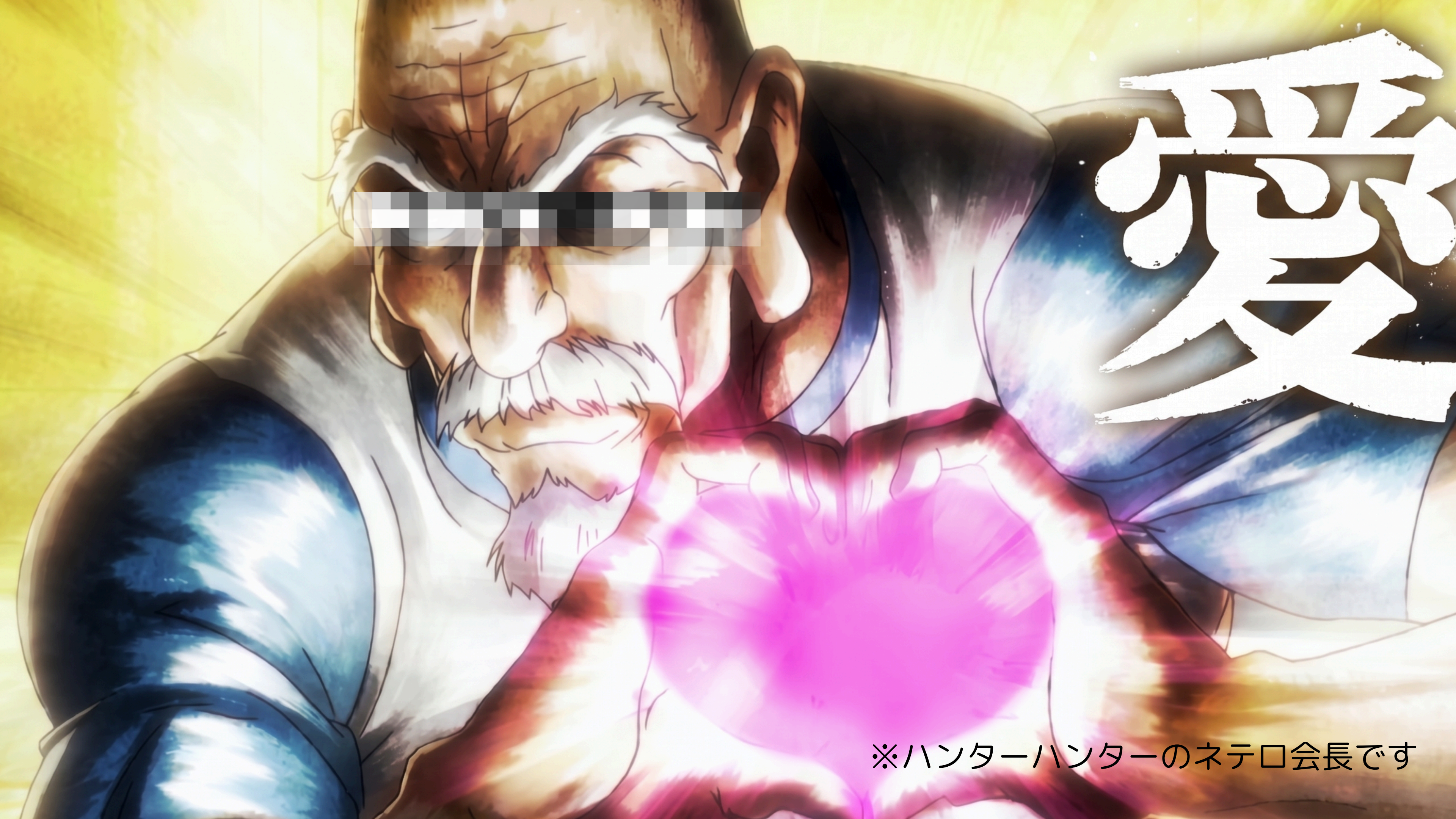


真似をする

- 尊敬する先輩の仕事ぶりを見ていて、気づきを得た。
この方は、ただコードを書いているんじゃないと...
プロダクトの未来に対して、あまりにも誠実で、真摯に向き合っている。
- その姿をずっと観察して、
自分なりにその『姿勢』を盗もうと必死に考えました。
そして、ある一つの結論に辿り着いたんです。

この真摯に向き合う姿勢、これって……





愛

※ハンターハンターのネテロ会長です

転用してみた

『愛』を意識してから、自分の行動を変えてみました。
コードを書くことは、もはや『作業』ではなく『子育て』です。

- フォルダ名やコンポーネント名、関数の設計
 - 誰が見てもその子の役割がわかるように、一生懸命「名前」を考える。
 - この子が将来、他の場所へ行っても苦労しない（使い回しやすい）ように整えてあげる。
- リファクタリング
 - 荒れたコードを否定しない。
 - 優しい心で再度教育（リファクタリング）を。
- デプロイ
 - 子供の「社会人デビュー」

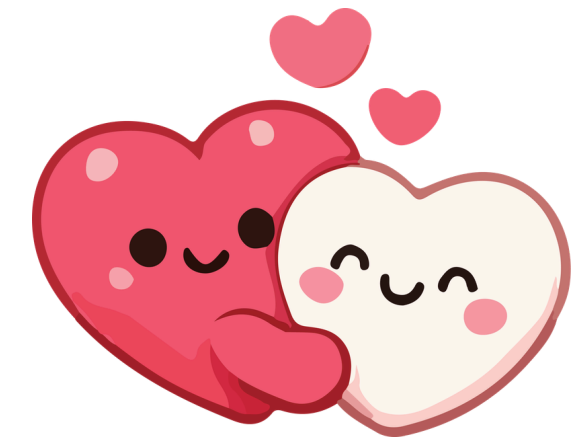


まとめ

「自分のために頑張る」のには、限界があった。
しかし、目の前のコードを「愛すべき子供」だと思った瞬間、
考える時間が「作業」から「愛情」に変わりました。

自分の性格上、
「自分のため」より「誰かのため」の方が、何かを成し遂げるための原動力
になる

皆さんも、自分のコードを、愛してあげませんか？



THANK YOU

